

報 告 書

開 催 日 時	令和7年10月30日(木) 19時 00 分 ～ 20 時 45 分		
自治協議会名	桐ヶ丘地区住民自治協議会	開 催 場 所	桐ヶ丘地区市民センター
出席議員	寺村 京子、上田 宗久 北山 太加視、山口 康子、陶山 美佐		
	班 長	寺村 京子	記録・報告者 寺村 京子
参加人数	14 名		

【主な意見・提言等】

< 桐ヶ丘地区の汚水処理施設について >

- 課題

- ・ 桐ヶ丘地区の汚水処理施設について、現状の民間事業者による運転管理から公への移管を地域が希望しているが、長期間滞っている。
- ・ 担当部署から提示された5つの案のうち、令和5年8月住民の要望であるA2案（現施設をそのまま伊賀市に移管し、伊賀市が改修するという案）についての住民説明会を行った際、事業を進めるためには「4条件＋同意 90～95%」が必要と提示。それに対し、地域は4条件受諾のうえ同意 92.5%を取得し提出した。

（4条件（住民負担を伴う）：受益者負担金の支払い、伊賀市基準の下水道料金適用、宅内汚水マス整備（不要物流入防止）、宅内誤接続の調査実施。）

また、不在地主分は伊賀市が自治会と協力し対応する旨の説明あり。

- ・ 市長が替わってから、下水道課より「現状維持」が最適との見解が文書で示され、令和5年8月の合意（4条件＋同意率達成）に基づく「伊賀市が次に動く番」という住民理解と齟齬が生じる。文書回答はあるが、口頭説明や住民向け説明の場は設けられず。回答内容は「財政」「二重投資」等の一般論が中心で、住民の意向を尊重する姿勢にかけている。
- ・ 市長が替わったことで方針が変更したのか、行政側の方針に継続性が見られない。
- ・ 災害時のリスクを考慮し、将来的に個別浄化槽の検討もすべきということと言われたが、既存の住宅の中には、構造上浄化槽の整備が難しい区画等もあるのが現実。
- ・ 下水道整備事業計画の中に桐ヶ丘がある以上、施設を市へ移管し公共下水になることを希望している。

- 議員より

- ・ 文書のみやりとりで、地域と行政側の認識に乖離が生まれていると感じる。どのように認識の齟齬が起きてしまったのかお互いに経緯や認識を確認していく必要があるため、上下水道部に今回の意見と、話し合いの場を設ける要望をお伝えさせていただく。

- ・そのうえで、昨今国でも下水に関しては様々な方針の変化がある分野であり、今後の災害等のリスクにどのように備え考えるべきかなど、住民の皆さんと行政で改めて検討をしてほしい。

< 柏尾メガソーラー建設計画について >

- 課題

- ・ 桐ヶ丘地区に隣接する柏尾地域に、インターネット情報等では面積約 19 万㎡規模の言及あり。この 11 月着工という話が急に聞こえてきているが、桐ヶ丘地区には何の説明もない状態である。
- ・ 調べるところによると外国人代表者であること、また事業の持続性、撤去・リサイクル費用負担、災害・土砂リスク、生態系影響への不安がある。
- ・ 11 月 13 日に事業者を招き説明会を実施予定であり、行政担当者や議員にも出席依頼をしている。現状を聞いて、対応を一緒に考えていただきたい。

- 議員より

- ・ 市への事前届出（伊賀市要綱：1,000 ㎡以上）が未提出の段階。計画概要は行政側も未把握である。
- ・ 森林法・砂防法ほか、多数法令による審査・許認可が必要。大規模案件は長期審査の可能性。国レベルでメガソーラー規制強化の議論が行われている状況。名張市は設置条例あり、伊賀市は未整備。
- ・ 伊賀市長は県に対してガイドライン強化・条例化による法的拘束力強化を要望済み。と伝えた。

伊賀市議会議長 様

令和 7 年 12 月 1 日

上記のとおり、地域意見交換会の概要について報告いたします。

令和 7 年度 地域意見交換会 3 班 班長 寺村京子